

# EdTech 導入補助金2021

令和2年度3次補正 学びと社会の連携促進事業  
(先端的教育用ソフトウェア導入実証事業) 費補助金

## 効果報告レポート

【事業者名】

Institution for a Global Society株式会社

【ツール名】

e-Spire

【ツールの機能分類】

デジタル教材 (英語)

2022年2月



# ■ EdTech ツールの概要

入門～海外進学レベルの豊富な問題を英語力とペースに合わせて学習可能

Inst. Global Society

中学・高校生向けeラーニング・システム

## 確かな英語力と「自ら学び続ける力」を育む

VOCABULARY、READING、LISTENING、WRITINGの4つのユニットで構成されたオンライン英語学習プラットフォーム。ユニットごとに英語習熟度や学習ペースに合わせて自由に取り組むことが可能です。

### 入門・初級からネイティブ・レベルまで幅広い難易度の問題を提供

各ユニットのレベルは75段階。従来の紙教材では難しいタイムプレッシャーなどの負荷を掛けたトレーニングで英語力を効果的に高めます。

### 生徒の学習モチベーションを高めることで自学の習慣化を支援

学習の進捗に応じてバッジを付与。ゲーミフィケーション効果によって達成可能な短・中期的な目標設定を促し、自学習を習慣化させます。

### 「生徒のOUTPUTの機会増加」と「先生の負担軽減」を両立

AIによる英作文の自動採点システムを採用。英語をOUTPUTする機会を増やしながらも添削・採点に関わる先生の負担を大幅に軽減します。

## 英検® およびCEFRとのレベル比較 (目安)

e-Spireレベル	10	20	30	40	50	60	70	75
<b>VOCABULARY</b>	5級 A1	4級 A1	3級 A1	準2級 A2	2級 B1	準1級 B2		
<b>READING</b>	3級 A2		準2級 A2		2級 B1		準1級 B2	
<b>LISTENING</b>	3級 A2		準2級 A2		2級 B1		準1級 B2	
					1級 C1		該当データ無し C2	

## VOCABULARY

収録単語数 7411語

収録単語は約7,400語と従来の紙の単語集の約3～7倍。エビングハウスの忘却曲線のアルゴリズムによって出題される問題を解くことで、超基本単語の復習をしながら難単語まで効果的に習得することができます。

## 自動単語テスト機能 マスタ



間違えやすい単語や覚えられなかった単語を毎日ランダムで10題出題。既習単語の効果的な復習が可能になります。

## ブラックリスト機能 My 単語帳

428 苦手な単語

451 学習済み単語

908 すべての単語

苦手な単語を集中的に復習することも可能。

# ■ EdTech ツールの概要

## READING

収録問題数 294題

哲学・文学・歴史・科学など豊富なテーマの長文を収録。正確さだけでなく、読む速さを意識したリーディングの習慣が身に付きます。

### 充実の速読トレーニング機能



内容理解を問う問題はスクリプトを伏せて回答。正答率とともにリーディング・スピードを自動計算して表示します。

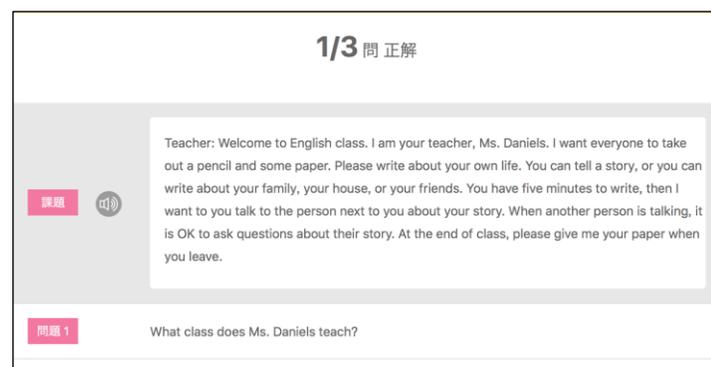


復習の際には110・150・180wpmで速読トレーニングを行うことも可能。

## LISTENING

収録問題数 312題

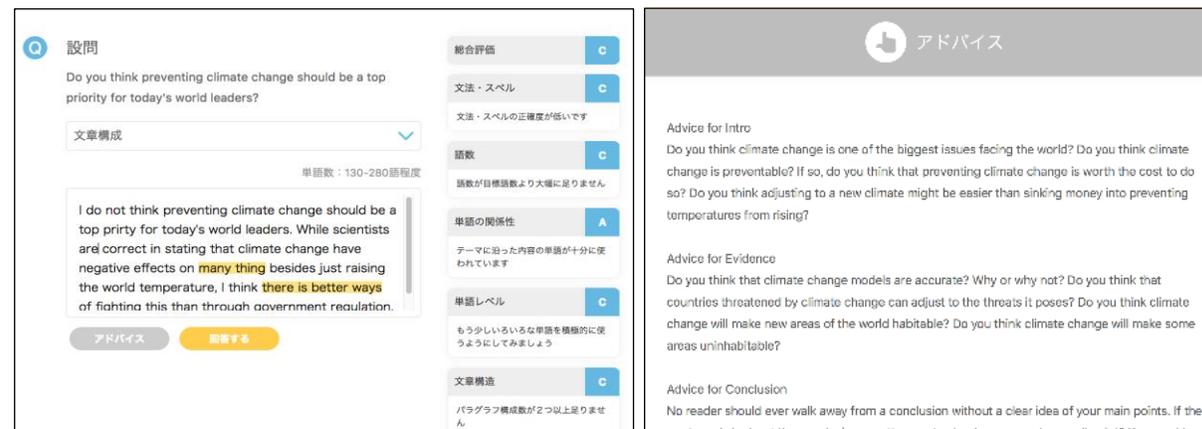
スクリプトを伏せた状態でネイティブの音声を聞き、制限時間内に設問に解答。リスニング力を鍛えるために有効なディクテーションやシャドーイングなどといったトレーニングも効果的に行うことができます。



## WRITING

収録問題数 107題

日常から入試頻出のテーマまで幅広くカバー。人工知能 (AI) の修正提案機能で、ライティング力の向上を強力にサポートします。



エッセイはアドバイスを参照しながら書くことも可能。書き終わると、エッセイの誤りを、AI がスペル、文法、語数、文章構成、使用単語レベルなどの項目で瞬時に指摘します。

### ■ 利用料 (1カ月単位での利用も可能。プランは生徒ごとに自由にお選びいただけます)

VOCABULARY + READING , LISTENING , WRITINGのうち1ユニット	1名 1,300円(税別) /月
VOCABULARY + READING + LISTENING + WRITING	1名 2,500円(税別) /月
VOCABULARY + READING + LISTENING + WRITING (自動採点+月4回の外部採点)	1名 3,500円(税別) /月
WRITING (自動採点のみ)	1名 500円(税別) /月
WRITING (自動採点+月4回の外部採点)	1名 1,500円(税別) /月

## ■ 学校等教育機関の抱える課題

多くの学校・先生方が抱える以下の悩み・課題を「e-Spire」によって解消する。



大きな開きがある英語習熟度の差をなかなか埋められない。

**e-Spire**

TOEFL®テストの構造に沿って設計。高難度の問題を多数収録し、TOEFL iBT®テスト 80点以上獲得に必要な英語学習環境を提供。

### 目指す課題解決

帰国生などネイティブ・レベルや高い学習モチベーションを持つ生徒に適切かつ必要な負荷を与え英語力のさらなる向上を支える。



採点や添削の時間を考えると英作文の課題をなかなか増やせない。

**e-Spire**

AIによる自動採点を採用。添削・採点の負担を減らすだけでなくルーブリクス評価によって明確かつ統一的なフィードバックが可能。

### 目指す課題解決

英作文採点や添削に関わる先生の負担を増やすことなく生徒の英語OUTPUTの機会を大幅に増やすことで英作文力の向上を支える。



INPUTに時間がかかり英語定着に必要な活動の時間を増やせない。

**e-Spire**

ランキングやバッジ機能といったゲーミフィケーション効果で全ての生徒に達成可能な短・中期的な目標設定を促し自学を習慣化。

### 目指す課題解決

生徒の学習モチベーションを高めることで自学の習慣化に加え自学の質・量の向上を図り自学と授業の有機的な役割分担を実現する。

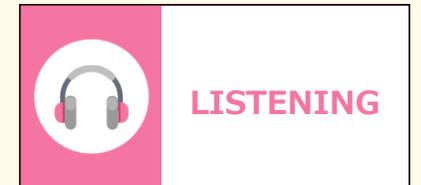
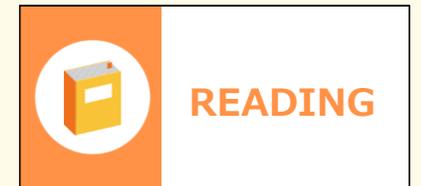
### CASE 1 埼玉県立和光国際高等学校の活用事例：上位層の学習欲を刺激し英語力向上を実現



- 週2回の英作文課題を「e-Spire」で代替。授業は論理構成に関する指導にとどめることができ、トレーニング時間を十分に確保できるように。
- 特に上位層の生徒（英検<sup>®</sup> 1級レベル）の食い付きが良く、帰国子女の生徒にも負荷を掛けたトレーニングを促すことが可能に。
- 学習内容を自分で自由に選べることから学習モチベーションがUP。「使いやすい」という感想が多数。
- 端末を選ばずすぐにログインできるため、学習時間が増え、英語学習に対する積極性が向上。これに比例して特に英作文力が高まった。

#### 活用事例の概要

- **活用シーン**  
英語授業 & 自学習
- **対象生徒**  
1年生 2クラス
- **使用Unit**



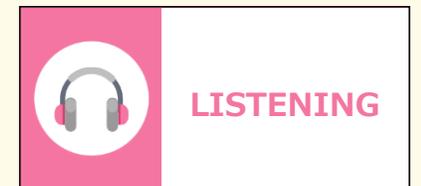
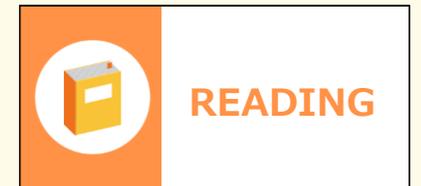
## CASE 2 徳島県立脇町高等学校の活用事例：自学習の充実化で学習欲と英語力の向上を実現



- 2年生は英検<sup>®</sup>の合格を目標に「e-Spire」を活用。
- 学習状況を進捗レポートを通じて把握することができ生徒フォローにつながった。定期考査も「e-Spire」の学習内容や到達レベル状況を参考に作成。
- 部活中心の生徒も練習問題を中心に「e-Spire」に積極的に取り組んだ様子。生徒同士で進捗を競ったり友人の取り組みを意識したりすることが自学習の刺激に。
- READINGとLISTEINGはLv. 1からスタートさせたが、Lv.30~40まで自主的に学習を進めた生徒や練習問題を100題以上こなした生徒も。

### 活用事例の概要

- **活用シーン**  
英語授業 & 自学習
- **対象生徒**  
1～3年生（普通科）
- **使用Unit**



## ■ EdTech導入補助金2021における導入実績

全国125校から申請を受け本補助事業を実施。48303名の児童・生徒、3389名の先生が弊社のEdTechツールを活用。

地域区分	学校名	区分	利用学年	利用生徒数	利用先生数	学校名	区分	利用学年	利用生徒数	利用先生数
北海道地方	北海道紋別高等学校	公立	1・2	275	50	北海道教育大学附属函館中学校	国立	1～3	313	15
	北海道興部高等学校	公立	1～3	40	12	クラーク記念国際高等学校	私立	1～3	709	26
	北海道訓子府高等学校	公立	1～3	44	11	北海道文教大学附属高等学校	私立	1～3	437	30
	北海道富良野高等学校	公立	1～3	401	33	北星学園女子中学校	私立	1～3	250	15
	北海道大空高等学校 東藻琴校舎	公立	1～3	65	6	北星学園女子高等学校	私立	1～3	600	30
	札幌市立札幌小学校	公立	6	60	5	白樺学園高等学校	私立	1～3	420	30
東北地方	岩手県立釜石高等学校	公立	1～3	467	43	聖光学院高等学校	私立	1	69	3
	フリースクール花鶏学苑	その他	1～3	9	1					
関東地方	宇都宮短期大学附属中学校	私立	1～3	159	10	昭和学院中学校	私立	1～3	460	30
	宇都宮短期大学附属高等学校	私立	1	356	84	昭和学院高等学校	私立	1～3	953	70
	智学館中等教育学校（中学部）	私立	1～3	56	21	東京都立国分寺高等学校	公立	2	40	10
	智学館中等教育学校（高等部）	私立	1・2	49	16	東京都立科学技術高等学校	公立	1～3	624	63
	筑波大学附属坂戸高等学校	国立	1・2	318	20	新宿区立柏木小学校	公立	5・6	110	4
	埼玉県立和光国際高等学校	公立	1	79	2	岩倉高等学校	私立	1～3	1,257	80
	さいたま市立植竹小学校	公立	5・6	271	8	上野学園中学校	私立	1～3	148	5
	さいたま市立本太中学校	公立	1～3	704	50	上野学園高等学校	私立	1～3	500	25
	さいたま市立浦和中学校	公立	3	80	16	安田学園中学校	私立	1～3	581	30
	さいたま市立内谷中学校	公立	1・2	622	41	安田学園高等学校	私立	1～3	1269	46
	さいたま市立春野中学校	公立	1～3	591	50	蒲田女子高等学校	私立	1～3	238	30
	さいたま市立大砂土中学校	公立	1～3	586	29	多摩大学目黒中学校	私立	3	145	20
	さいたま市立岩槻中学校	公立	1～3	509	29	多摩大学目黒高等学校	私立	3	331	12
	さいたま市立大宮国際中等教育学校	公立	1～3	479	39	工学院大学附属中学校	私立	1～3	284	21
	さいたま市立大宮北高等学校	公立	1～3	946	70	工学院大学附属高等学校	私立	1～3	758	42
	さいたま市立浦和高等学校	公立	1	327	63	聖徳学園中学校	私立	1～3	265	30
	さいたま市立浦和南高等学校	公立	1～3	954	79	聖徳学園高等学校	私立	1～3	557	60
	戸田市立戸東小学校	公立	5・6	346	14	創価中学校	私立	3	216	15
	戸田市立戸東中学校	公立	1	162	5	創価高等学校	私立	1～3	134	12
	戸田市立喜沢小学校	公立	5・6	130	23	翔和学園	その他	小・中・高	23	23
	戸田市立戸田第二小学校	公立	5・6	340	12	和洋国府台女子中学校	私立	1	112	21
	戸田市立芦原小学校	公立	6	112	29	和洋国府台女子高等学校	私立	1・2	378	44
	戸田市立新曽小学校	公立	5・6	203	6	神奈川県立鎌倉高等学校	公立	1～3	960	10
	戸田市立美女木小学校	公立	5・6	225	20	横浜市立横浜サイエンスフロンティア高等学校・附属中学校	公立	1～3	240	18
	戸田市立笹目小学校	公立	5・6	99	20	横浜市立横浜サイエンスフロンティア高等学校	公立	1・2	472	60

## ■ EdTech導入補助金2021における導入実績

全国125校から申請を受け本補助事業を実施。48303名の児童・生徒、3389名の先生が弊社のEdTechツールを活用。

地域区分	学校名	区分	利用学年	利用生徒数	利用先生数	学校名	区分	利用学年	利用生徒数	利用先生数
関東地方	関東学院中学校	私立	1～3	811	34	横浜女学院中学校	私立	2・3	128	2
	関東学院高等学校	私立	1～3	721	34	横浜女学院高等学校	私立	1	70	1
中部地方	小浜市立小浜中学校	公立	1～3	329	27	愛知県立刈谷高等学校	公立	1～3	1200	75
	静岡県立磐田北高等学校	公立	1～3	790	65	愛知県立惟信高等学校	公立	1・2	555	53
	静岡聖光学院中学校	私立	1	101	12					
関西地方	三重県立白子高等学校	公立	1・2	540	30	大阪高等学校	私立	1～3	1244	50
	三重県立四日市南高等学校	公立	1	320	4	早稲田摂陵中学校	私立	2・3	23	5
	三重県立津高等学校	公立	1・2	640	57	早稲田摂陵高等学校	私立	1・2	588	30
	三重県立久居農林高等学校	公立	1	80	4	向陽台高等学校	私立	1・2	385	30
	三重県立伊勢高等学校	公立	1・2	560	20	清風南海高等学校	私立	1・2	166	16
	三重県立上野高等学校	公立	1～3	119	6	追手門学院大手前中学校	私立	1～3	321	25
	滋賀学園中学校	私立	1～3	48	13	追手門学院大手前高等学校	私立	1・2	510	40
	京都府立桃山高等学校	公立	1・2	380	10	高砂市立高砂中学校	公立	1～3	186	23
	京都先端科学大学附属中学校	私立	1～3	163	11	神港学園高等学校	私立	1～3	851	50
京都先端科学大学附属高等学校	私立	1・2	933	42						
中国地方	青翔開智中学校	私立	3	44	15	ステップ	その他	中1～高3	200	20
	青翔開智高等学校	私立	1～3	131	15	尾道市立栗原中学校	公立	1	138	15
	島根県立松江南高等学校	公立	1・2	524	70	廿日市市立七尾中学校	公立	1～3	344	30
	島根県立出雲高等学校	公立	1・2	620	30	福山市立山南小学校	公立	4～6	55	14
	島根県立益田高等学校	公立	2	133	10	修道中学校	私立	1～3	862	50
	岡山県立高梁高等学校	公立	1	124	4	修道高等学校	私立	1～3	849	50
四国地方	徳島県立脇町高等学校	公立	1～3	523	6	愛媛県立川之江高等学校	公立	1・2	600	52
九州・ 沖縄地方	福岡県立嘉穂高等学校附属中学校	公立	1～3	233	40	大分県立日田高等学校定時制	公立	1～3	39	16
	福岡県立嘉穂高等学校	公立	1～3	894	50	大分県立日田林工高等学校	公立	1～3	421	60
	福岡市立福岡西陵高等学校	公立	1・2	640	10	大分県立宇佐高等学校	公立	1・2	288	18
	宗像市立河東西小学校	公立	5・6	204	6	大分県立別府翔青高等学校	公立	1～3	750	55
	熊本県立宇土高等学校	公立	2	59	5	岩田高等学校	公立	3	33	3
	東明館中学校	私立	2・3	112	8	沖縄県立嘉手納高等学校	公立	1～3	445	24
	大分県立大分舞鶴高等学校	公立	1・2	640	40	沖縄県立沖縄水産高等学校	公立	1・2	102	5
	大分県立由布高等学校	公立	1～3	278	35	沖縄県立北部農林高等学校	公立	1～3	114	4
	大分県立佐伯豊南高等学校	公立	総合学科	215	46	興南高等学校	私立	1	200	5

## ■ EdTechツールの活用効果にかかる分析と考察

本補助事業における「e-Spire」の成果サマリー

### 上位層の英語力向上への貢献

一斉授業では特に難しい論理性に関するフィードバックを重ねたことで、上位層の生徒の英作文力がさらに向上。帰国子女などネイティブ・レベルの生徒にも適切な負荷を掛けられたことで上位層の学習意欲を刺激できた。

### 英作文の添削・採点の負担軽減

WRITING Unitを活用された3校全ての先生が英作文の添削・採点に関わる負担が大幅に軽減したと回答。これにより「e-Spire」導入前との比較で英作文課題を約2.5倍増やすことができ、生徒の英作文力向上に寄与できた。

### 授業と自学習の有機的分担の実現

過去に弊社で行った調査で明らかになった自学習と相関の高い資質・能力とともに主体性に関わる個人的実行力の成長を確認。自学習の習慣化がこれら資質・能力の成長を促し、自学習を加速させた可能性も示唆できる。

## ■ EdTechツールの活用効果にかかる分析と考察

**上位層の英語力向上への貢献** 本補助事業期間中に提出された上位層の英作文の変化と「e-Spire」申請校の先生方の声

### ■ 生徒の英作文のクオリティの向上

2021年9月

問題 - Teacher payment based on student performance

回答 単語数: 171語

No, I don't think they should be paid according to how well or how much their students learn. I have three reasons for this.

First, I think the skills of students are not only developed by how teachers teach, but also by the students' motivation. I think that how much they learn independently is a major factor in improving their academic ability.

Second, I think it is stressful for both students and teachers that the student's academic ability is related to the teacher's salary. They'll feel pressure when their personal actions greatly influence the lives of others.

Third, I think it important for teachers to teach seriously whether it relates to their salary or not. I think it is inevitable to change their attitudes based on the self-centered condition like their salary.

As the above reasons, I think that the students' motivation and the teachers' attitude are related to the progress of students' academic ability. So, I don't think it's good to change their salary based on how students learn well.

表現の細かなエラーはあるものの全体的に豊かな表現ができており、十分良く書けたエッセイである。また、日頃から高い関心を持って英語を学んでいる様子も伺える。

- ・ 主張は一つの筋になるようにする
- ・ 理由を具体的に書くようにする
- ・ 例を挙げ具体的に掘り下げてみる

など、さらなるレベルアップを目指して外部採点の際には論理性に関するフィードバックを重ねた。

2021年12月

問題 - Ocean Garbage

回答 単語数: 309語

I think governments should spend money on cleaning the ocean, because the problem of marine plastic debris is so serious. I also think each of us should be conscious of this issue and take action, too. There are three reasons to support my opinion.

The first reason is that the marine waste is harmful to sea creatures. For instance, micro plastics can accumulate in their body, also they often mistake plastic products for food and eat them. And organisms are unable to digest these plastics that have been introduced into their bodies. As a result, marine debris is damaging and, in the worst cases, killing marine organisms.

The reason why I think governments should try their best to clean the ocean is that the marine debris cause some matters to industry, too. As I mentioned, marine plastic litter can kill marine organisms, and this leads to problems that the decline in catch of fishing and aquaculture industries. In addition, for people who enjoy swimming and diving, the polluted sea is not attractive. Therefore, marine litter has a great impact on the fishing and tourism industry.

(以下、省略)

さまざまな角度から理由を述べようという姿勢がさらに高まった印象。難しいテーマであっても説得力のある具体例が挙げられており、全体として引き締まったエッセイに。

### ■ 申請校の先生方の主な声

- ・ 「自分のペースで高難度の課題に取り組めるところがいい」という声が多かった。
- ・ 上位層は授業中の課題を他の生徒よりも早く終えてしまうため、課題の後「e-Spire」に取り組んでもらっている。上位層の生徒が時間を持て余すことがなくなった。
- ・ お手本のエッセイが参照できるので上位層にはモデリングを行わせたが効果的だった。



## ■ EdTechツールの活用効果にかかる分析と考察

### 英作文の添削・採点の負担軽減 「e-Spire」申請校の先生方の声

#### ■ 先生の添削・採点業務の変化



- ・ 修正が必要な個所に斜線を入れるだけで簡単にフィードバックできるのが良い。
- ・ AIの自動採点で文法・語法のエラーをある程度つぶしてくれるので採点の負担が大きく減った。
- ・ タイピングでコメントを入れられるので手書きよりはるかに採点時間が減った。
- ・ ルーブリックに沿って採点できるので評価基準を統一できる。また、パラグラフごとに分けて添削できる点がとても使いやすい。
- ・ 紙ベースで英作文課題を提示して対応することがどれだけ非効率なのかよく分かった。
- ・ 課題の配布から返却までの流れを考えると「e-Spire」は圧倒的に効率が良い。

#### ■ 書く機会を増やせたことによる生徒の英作文力の変化

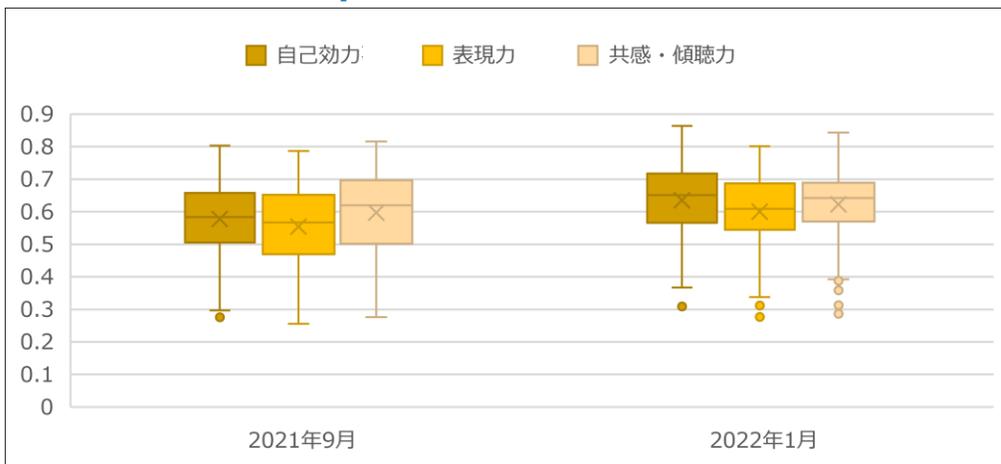
- ・ 英語を書く機会だけでなくフィードバックとそれを生かす機会が増えたことが大きい。
- ・ 課題を増やせたことで日本語をそのまま英語に直しただけのエッセイが大幅に減った。
- ・ 英語のエッセイで用いる基本的な表現の型を身に付け、フォーマットに当てはめて言いたいことをある程度書ける生徒が増えた。



# ■ EdTechツールの活用効果にかかる分析と考察

## 授業と自学習の有機的分担の実現 コンピテンシー（自学習と親和性が特に高い資質・能力）の成長

### ■ 申請校F：「e-Spire」を活用された申請校の高校2年生（n=173）



計測時期	自己効力		表現力		共感・傾聴力		個人的実行力	
	2021年9月	2022年1月	2021年9月	2022年1月	2021年9月	2022年1月	2021年9月	2022年1月
平均値	0.579	0.635	0.555	0.599	0.598	0.622	0.584	0.634
標準偏差	0.119	0.112	0.121	0.110	0.125	0.107	0.130	0.133
中央値	0.583	0.652	0.567	0.609	0.619	0.642	0.591	0.664

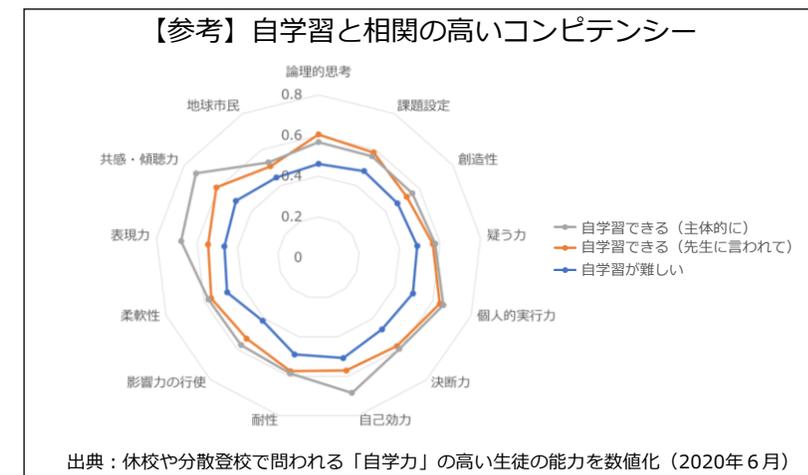
▼成長に有意性が認められるか t 検定を実施（網掛けが成長に有意性が認められたコンピテンシー）

コンピテンシー	21年9月	22年1月	差	有意確率（両側）
自己効力	0.579	0.635	0.06	0.000
表現力	0.555	0.599	0.04	0.000
共感・傾聴力	0.598	0.622	0.02	0.029
個人的実行力	0.584	0.634	0.05	0.000

### ■ 上記と同じ生徒の「e-Spire」各Unitの学習量とコンピテンシー・スコアを相関分析

	課題設定	解決意向	論理的思考	疑う力	創造性	個人的実行力	自己効力	耐性
VOCABULARY 問題数	0.000654	-0.13127	-0.04629	0.003172	0.10242	0.064516	-0.01282	0.088938
READING 問題数	0.052795	0.054871	0.07235	0.056189	-0.01648	0.058868	0.176678	0.112247
LISTEING 問題数	0.130059	0.102957	0.153032	0.132916	0.11295	0.167196	0.27892	0.186861
WRITING 問題数	0.060092	0.08118	0.053918	0.091261	0.14754	0.212006	0.193081	0.138217

	決断力	表現力	共感・傾聴力	外交性	柔軟性	影響力の行使	地球市民
VOCABULARY 問題数	0.122234	0.043443	0.033778	-0.05311	-0.11696	-0.20213	0.070794
READING 問題数	0.085665	0.099535	0.10851	-0.0197	0.061019	-0.00978	0.063291
LISTEING 問題数	0.087536	0.186274	0.134377	0.12578	0.128809	0.157927	0.145806
WRITING 問題数	0.073052	0.021154	0.188111	0.025336	0.141369	0.06997	-0.11011



分析方法：資質・能力を定量化する自社のアセスメント・ツール「Ai GROW」を使用。「e-Spire」の活用前後で2度計測し、その間の生徒の資質・能力の変化を定量化した。相関分析などその後のデータ分析は社内実施。

## ■ EdTechツールを活用した児童生徒・教員のコメント感想等

申請校の先生方に行ったヒアリング（Zoomによるオンラインで実施）の結果

### ■ 「e-Spire」の活用による先生・生徒の変化

#### 先生・生徒の変化



- 全ての学習コンテンツが短時間で濃い学習ができるため、他教科の勉強や課題とのバランスを取りながら自学習を充実させることができた。
- WRITING Unit はテーマを生徒が自ら選び英作文に取り組める点が良い。生徒はその時に書きたいテーマで英作文に取り組めたため学習効果が高く、選んだテーマから生徒の興味や問題意識を伺い知ることができた。
- 授業での英語学習と「e-Spire」での英語学習が自然とお互いに補完し合う形になり、生徒の英語力の向上につながった。
- デジタル端末を用いた学習への興味・関心や生徒自身のデジタル環境によって「e-Spire」を用いた学習活動度合いに差はあったが、個々の最適レベルで英語学習を進められたため、結果、自学を中心に生徒の英語学習時間を増やすことができた。
- WRITING Unit ではword数の下限と上限が設定されているため、word数を意識した英作文を書けるようになった。
- 学習ログから生徒の自学の進捗をクラスごとに確認。「先週よりも解いた問題が増えた」「先週よりログイン回数が増えた」など、ちょっとした頑張りや変化をフィードバックできるように。これまでしたくてもなかなかできなかったフィードバックの一つです。

## ■ EdTechツールを活用した児童生徒・教員のコメント感想等

申請校の先生方からご提供いただいた「e-Spire」に関する生徒アンケートの結果

### ■ 「e-Spire」活用後の生徒の感想

#### \\ 生徒の感想 //



- 友達と競い合いながら目標を決めて楽しく学習することができました。一人で学習するというよりも友達と協力しながら学習する感じがとても良いです。
- ログインさえすれば通学中でもすぐに音声を聞いて問題に取り組むことができるので、自然と英語の学習時間が増えました。
- READINGは時間制限があるので、速さも意識しながら集中して英文を読めるようになりました。
- 英検®の試験直前も「ウォーミングアップ」代わりに「e-Spire」のLISTENINGで音声をギリギリまで聞きました。リスニング力は確実に上がったと思います。
- AI の採点でA評価にならないと英作文を提出できないので、自然と何度も書き直していた。前よりも自信をもって英作文を提出できるようになりました。
- バッジがうれしい。クリスマスとお正月にログインするともらえる限定バッジを獲得できてうれしかった。
- 学習内容を自分で選ぶことができるので、そのときの気分に合わせて解きたい問題に取り組むことができ、モチベーションが上がりました。

## ■ 会社概要

人を幸せにする評価と教育で、幸せを作る人、をつくる。



社名	Institution for a Global Society 株式会社	売上高	514,426千円
資本金等	388百万円	売上原価	142,551千円
株主	東京大学エッジキャピタル、東京理科大学投資ファンド、慶應イノベーションイニシアチブ、ウィザス、みやこキャピタル、河合塾、KEIアドバンス、三菱総合研究所 他	売上総利益	371,874千円
		経常利益	9,123千円
代表	福原正大（代表取締役社長）		
オフィス	東京都渋谷区恵比寿南1-11-2 4階		
従業員数	53名（役員含む）		



代表取締役 福原 正大  
Masahiro FUKUHARA

### Services



慶應義塾大学卒業後、東京銀行（現：三菱UFJ銀行）に入行。フランスのビジネススクールINSEAD（欧州経営大学院）でMBA、グランゼコールHEC（パリ）で国際金融の修士号を最優秀賞で取得。筑波大学で博士号取得。2000年世界最大の資産運用会社パークレイズ・グローバル・インベスターズ入社。35歳にして最年少マネージングダイレクター、日本法人取締役に就任。2010年に、「人を幸せにする評価で、幸せをつくる人をつくる」ことをビジョンにIGSを設立。慶應義塾大学経済学部 特任教授、至善館大学院 特任教授、一橋大学 特任教授、東京理科大学 客員教授（いずれも非常勤）、産業構造審議会「教育イノベーション小委員会」委員、「創造性を発揮する組織のあり方に関する研究会」委員（いずれも経済産業省）、米日財団 Scott M. Johnson Fellowなどを兼任。

### お問い合わせ・資料請求、各EdTechサービスの詳細

☎ 03-6447-7151（平日 10:00～18:00）

✉ edtech@i-globalsociety.com

GROW Academy



e-Spire



AiGROW

